

富里市地域公共交通計画の基本方針

資料2

基本的な考え

暮らしを守り、みんなで支え、未来へとつなぐ持続可能な交通体系

- 暮らしを守る：** 少子高齢化社会において、免許を持たない高齢者の足と通学利用の子供たちの移動の確保により、市民の暮らしといのちを守る
- みんなで支える：** 地域住民、交通事業者、行政それぞれが抱える課題について共通認識を持ち、地域一体となって取り組む体制づくり
- 未来へとつなぐ：** 多様な交通機関の連携による効率的な交通体系の構築（地域輸送資源の総動員）

- 持続可能な地域公共交通の実現 -

コンパクトなまちづくりを支える地域公共交通ネットワークの再構築

- 総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略における地域産業の活性化、交流人口の拡大、定住促進を中心とするまちづくりと連携
- 都市拠点と各生活拠点の役割分担による集約型都市交流を支えるための市内外の交通ネットワークを充実し、鉄道駅が存在しない富里市全体の魅力と観光・交流による地域の活性化、郊外の集落拠点や住宅地の利便性の向上につなげる

地域公共交通再編の考え方

- ① 地域の実情に即した公共交通サービスの実現
 - ・ 北部・中部・南部地域それぞれの実情に合わせた適正な交通システムの導入
- ② 広域移動への利便性向上
 - ・ 市域外の鉄道駅、成田空港、医療施設への移動に配慮した生活交通
 - ・ 路線バスを確保維持するためのフィーダー交通の接続
- ③ 利用促進による潜在需要の掘り起し
 - ・ 公共交通の利用促進
 - ・ 新しい公共交通の担い手として、地域主体の持続可能な取り組み

まちづくり事業との連携の考え方

- ① 将来都市構造を支える事業との連携
 - ・ 拠点を結ぶ戦略的な地域公共交通の維持・再編と乗換機能の強化
- ② 新たな観光交流施設を見据えたルート見直し
 - ・ 計画されている新たな観光交流施設を見据えたアクセスの提供
- ③ 地域活性化事業・福祉事業との連携
 - ・ 公共交通と市内事業者連携による地域活性化
 - ・ 福祉施策との連携
- ④ 公共交通を活用した貨客混載
 - ・ 高速バス荷室の活用などによる地域活性化のための新しい施策

利用ニーズ把握調査

- 市民アンケート調査(Web 併用)
- 公共交通利用者調査
- デマンド交通登録者調査
- 高校生アンケート調査
- 関連事業者ヒアリング調査
- 社会福祉協議会ヒアリング調査



■地域公共交通システムの役割分担の考え方

区分	役割分担	対応公共交通システム	主な担い手
広域交通	○首都圏や関西方面へ連絡し、地域の広域骨格形成軸の路線	高速バス（再編） 周辺鉄道駅	民間事業者
地域間交通	○周辺都市への連絡及び市内の骨格となる路線	民間路線バス（再編） 空港シャトルバス（新規）	
地域内交通	○広域交通に接続、地域間路線を補完 ○市内の地区間・拠点間を連絡し、分散する市街地の連携強化・一体化	さとバス（定時定路線） デマンド交通（区域運行） 新しい交通システム（新規）	
補完交通	○上記公共交通を補完し、高齢者等の移動を支援するドア・ツー・ドアに近い機能を持つ少量個別輸送を担う移動手段	タクシー 民間送迎バス（新規） 福祉有償運送 地域の共助（新規） 観光バス（新規） レンタサイクル（新規）	行政 NPO等
交通結節点	○上記交通システムの乗り継ぎ拠点となるバスターミナルや市役所をはじめ、地域の各拠点における乗継ぎ環境機能を強化	富里バスターミナル 市役所（新規）	

■役割分担の概念図

